

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	滝澤 和美
	全体計画			経費区分	-	内線	3380
事務事業名	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010200 地域医療を支える体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費					
	事業	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。				須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置。感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉介護等の課題について取り組む。感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供により感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システムの導入により在宅医療24時間サポート体制を提供。※28年度から2会計。本システムでは30年度から一般会計地域医療福祉ネットワーク推進事業と介護特会在宅医療・介護連携推進事業を合算し事業費等を計上。※2019年度から係長級職員人件費を三市町村で負担。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ●「感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療連携拠点事業の取組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で取組を整理確認し、継続実施した。） 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で継続して実施した。）
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ●感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で継続して実施した。） 	<ul style="list-style-type: none"> ●須高地域医療救護活動訓練の実施、安心して産み育てられる地域づくりの取組み ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組み（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施）
平成31年度 予定	令和2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組み ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組み（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施） ○リビング・ウィルの普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組み ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組み（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施） ○リビング・ウィルの普及啓発

指標名	24時間在宅療養生活のための在宅医療安心ネットを活用した「須高在宅ネットワーク」の参加機関				
算式	「須高在宅ネットワーク」参加機関				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標		45	48	50
	実績	40	41	41	
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		2,753	2,808
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	724	739
一般財源		2,029	2,069
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.9	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,435.0	6,435.0
	嘱託職員	2,587.5	2,587.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,022.5	9,022.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,775.5	11,830.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	500	医療救護活動（エマルゴ）訓練、講演会・講座等講師謝礼
11節 需用費	713	医療救護活動（エマルゴ）訓練、講演会等消耗品、自動車燃料費等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,540	旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	370	講演会・講座等講師謝礼 等
11節 需用費	655	講演会用・事務用消耗品、10年まとめ冊子印刷製本費、自動車燃料費等
13節 委託費	200	須高地域医療情報ネットワークシステムプログラム修正委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,583	旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	高齢社会を迎え医療と介護の連携は重要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	災害時の医療体制や終末期の医療やケアについての希望など先進的に取組を進めている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	人件費について三市町村で負担するように改善	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 災害に対応した医療救護について机上訓練に取組めた 医療福祉の連携について退院時連携マニュアルの運用やリハビリ担当者連絡会を進めている

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

地域課題に沿って事業を先進的に進めている

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

単に須坂市だけでなく須高地区の医療と行政、市民をつなぐ取組として、継続する必要がある

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--